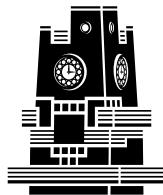


第55回 ESRI経済政策フォーラム

「高齢者クラウド」による高齢期の就労支援



東大先端研

Research Center for
Advanced Science and Technology
The University of Tokyo

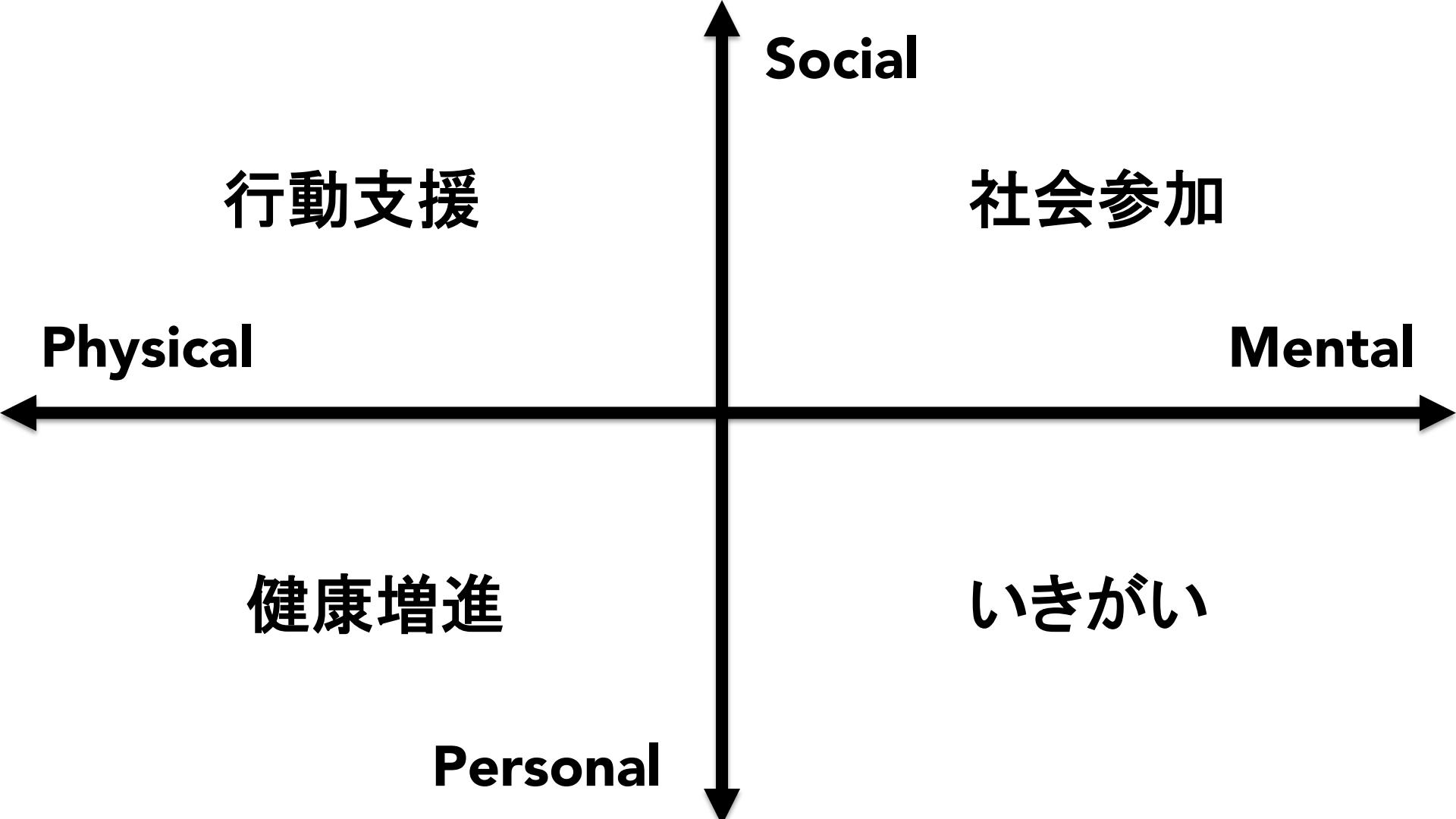


革新知能統合研究センター
Center for Advanced Intelligence Project

身体情報学分野
講師 檜山 敦

身体知伝達技術チーム
チームリーダー

GERONTOLOGY 「老年学」分野への AI／ロボットの活用研究



テレプレゼンスロボット



Physical

Social

ジョブマッチングAI

姿勢診断VR



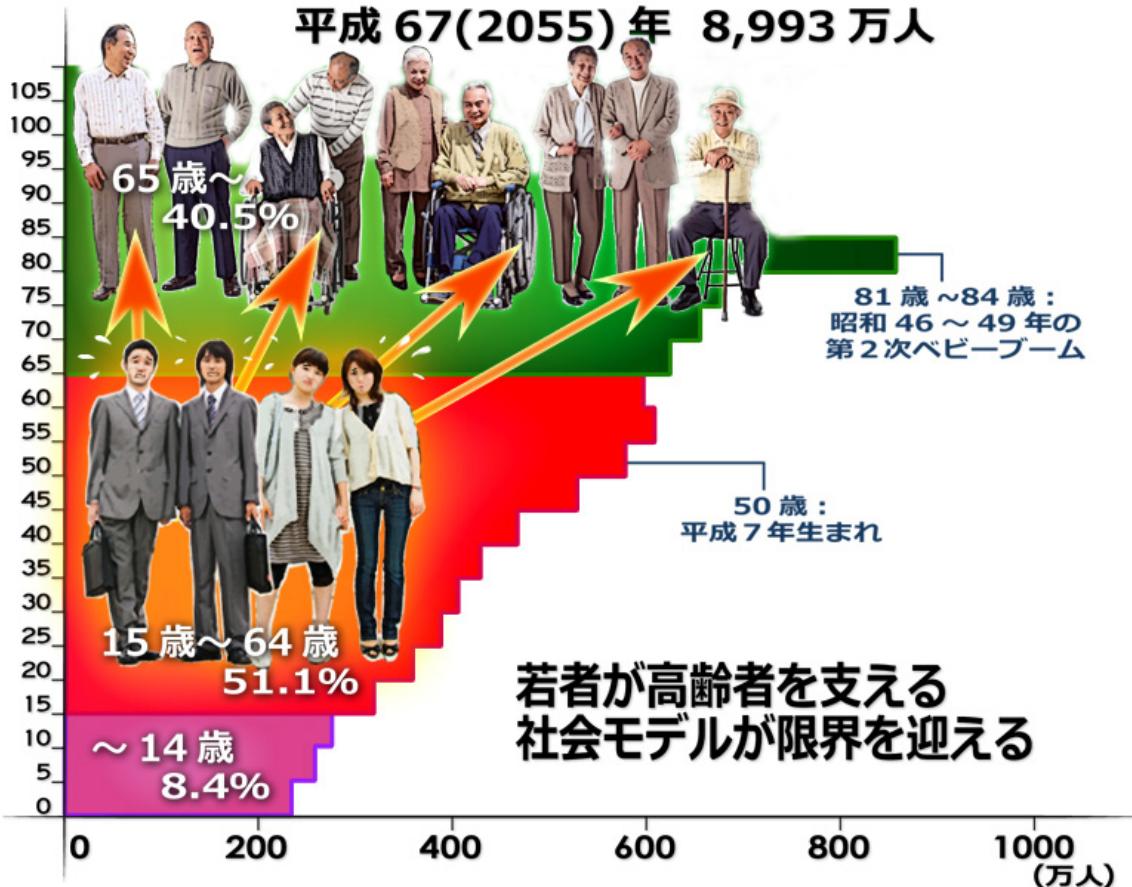
Personal

VR旅行

Mental



2055年の日本:一人の若者が一人のシニアを支える



超高齢社会：
65歳以上の人口が
21%を超えた社会

2016年現在 27.3%

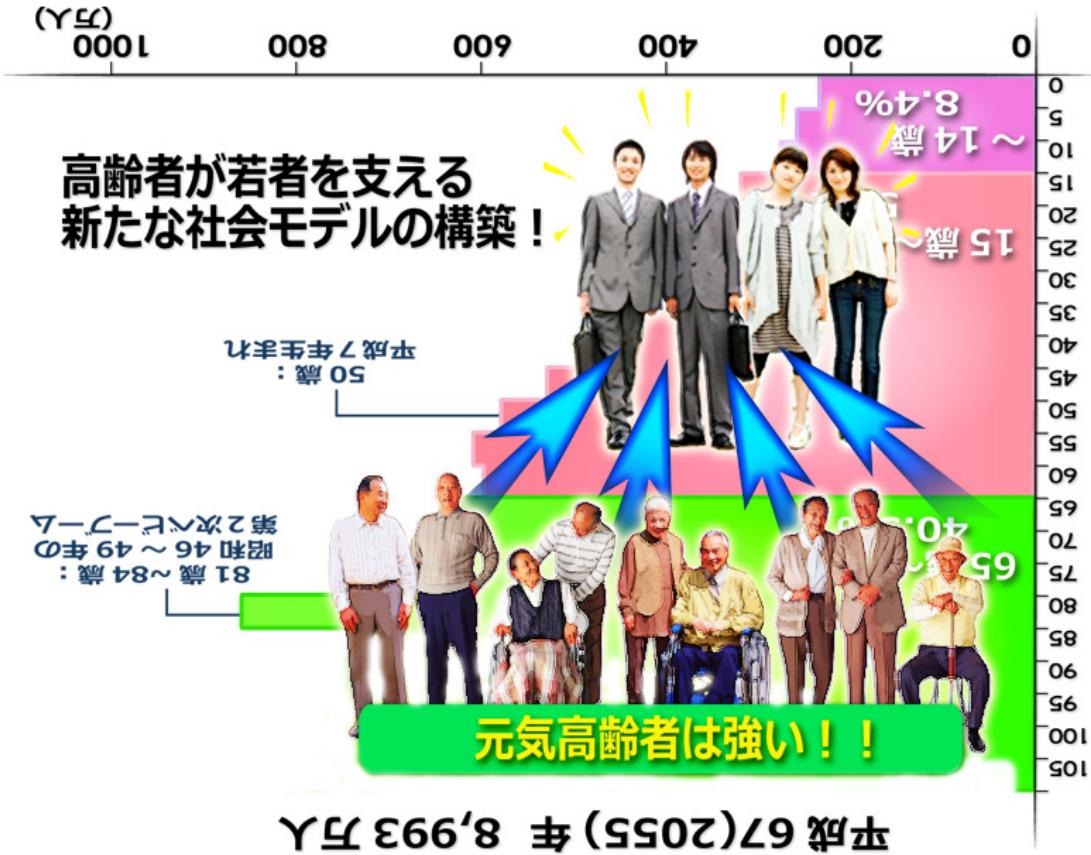
2055年までには、欧米諸国
中国・韓国・シンガポール等も
超高齢社会へ

ICTでシニア層の活力が活きる新しい社会構造をつくる

少数の若者層で支えようという
ことが本来無理な図式

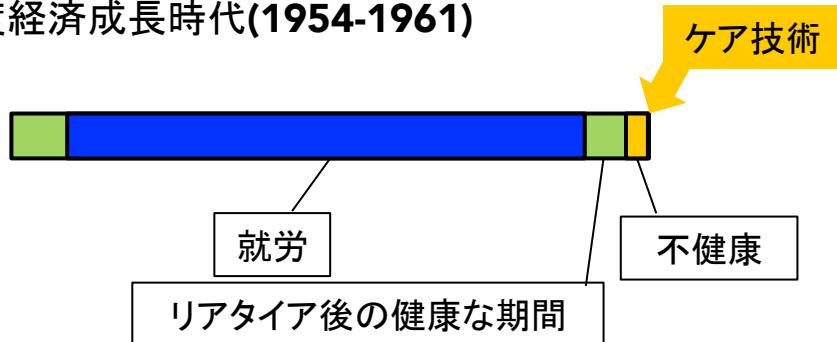
65歳以上の元気高齢者
(約90%)が社会の活力として
期待されてない

超高齢化の本質的問題



個人の目線で見た超高齢社会

高度経済成長時代(1954-1961)



ケア技術

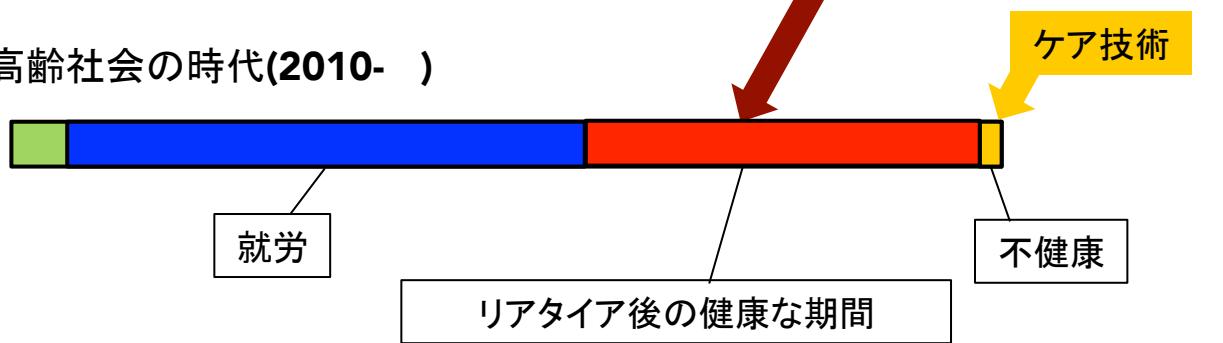
就労

不健康

リアタイア後の健康な期間

新しい技術が必要な期間

超高齢社会の時代(2010-)



ケア技術

就労

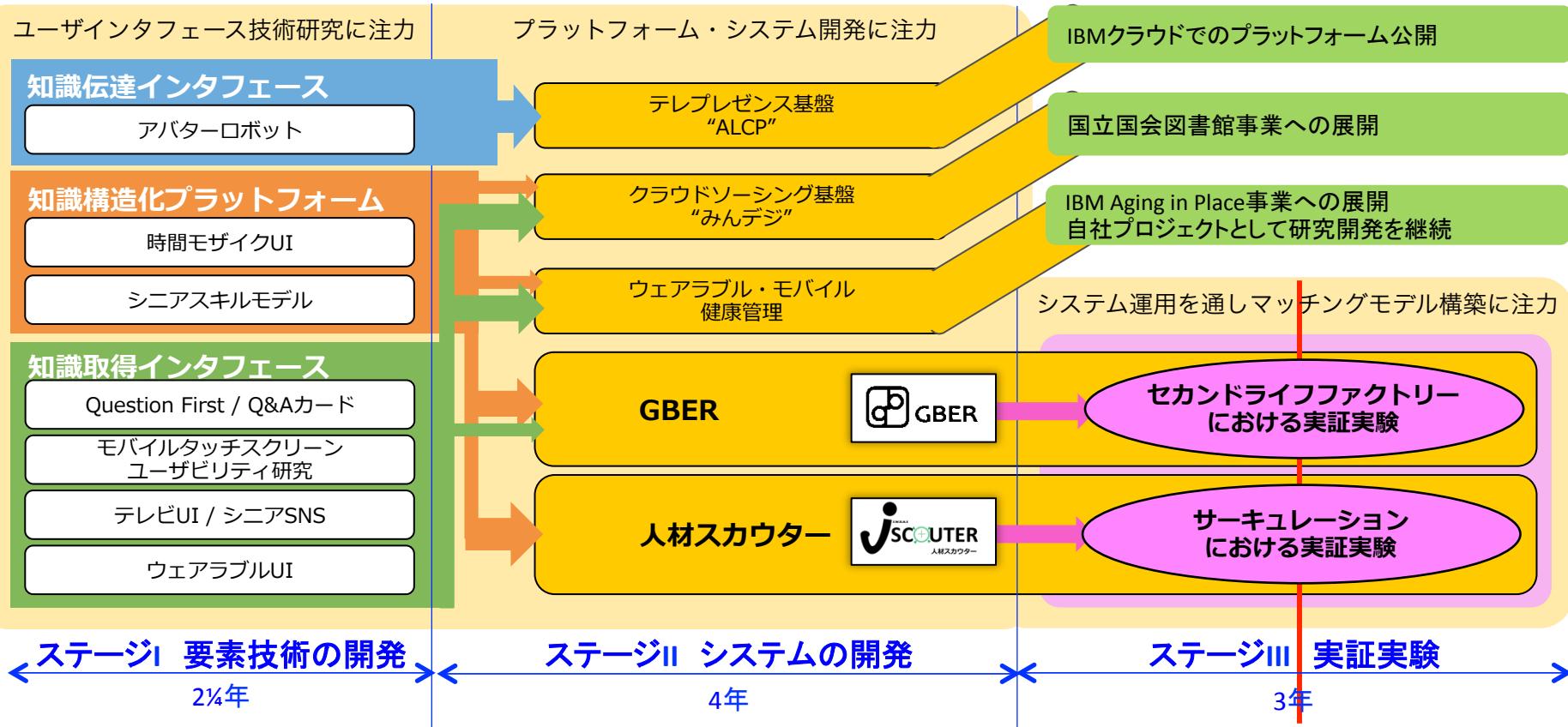
不健康

リアタイア後の健康な期間

「高齢者クラウド」プロジェクト

2011年1月～2020年3月

JST戦略的イノベーション創出推進プログラム



ステージIII実証実験 | 目標の整理

【ハイスキル就労領域】

課題・目標

活用人材の裾野拡大

仕事の特徴

指導的

運営形態

ビジネス志向／B2B

マッチング要件

詳細スキル記述を重視

技術課題

詳細スキル（非定型テキスト）情報
マッチング効率の向上

【いきがい就労領域】

職域・働き方の拡大

社会的

ソーシャル志向／C2C

時間／場所／興味を重視

時間／場所／興味を含む多面的な
プロファイル抽出とマッチング支援

「高齢者クラウド」
システム

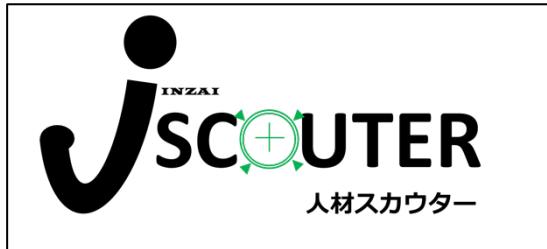
人材スカウター：
スキルマッチング暗黙知を
学習する人材検索システム



GBER：
柔軟な働き方をサポートする
地域活動マッチングシステム



「人材スカウター」



×



CIRCULATION

人材スカウターの特徴

案件情報から適切なキーワードを導き出す 操作をサポート・学習

The screenshot shows a resume analysis interface. At the top, there's a search bar with '年齢: [] ~ []' and a date selector '最終更新日: 2016/10/18'. Below the search bar are three icons: a resume, a speech bubble, and a person. A red dot is positioned above the resume icon.

A large red box highlights the title '案件情報(全文)' (Case Information (Full Text)) in the main content area. A red arrow points from this box down to a red box containing the text '特徴語を自動抽出' (Automatically extract characteristic words).

The main content area displays four resume snippets, each with a green vertical bar on the left and a red dot above it. Each snippet has a 'Super Cool!' button and a 'Keep' button below it. The snippets are:

- [87140] 深瀬謙輔さん
- [109984] 関直哉さん
- [35038] 堀辰貴さん
- [10490] マツダ・北村さん

To the right of the resumes is a sidebar titled '特徴語を自動抽出' (Automatically extract characteristic words). It includes a list of characteristic words with corresponding sliders:

- コンサルタント
- 駆使
- 鍛錬
- デジタル
- アナリティクス
- 事業戦略
- 組織改革
- 視点

Below this is a section titled 'フェンタリーション' with a '追加' (Add) button.

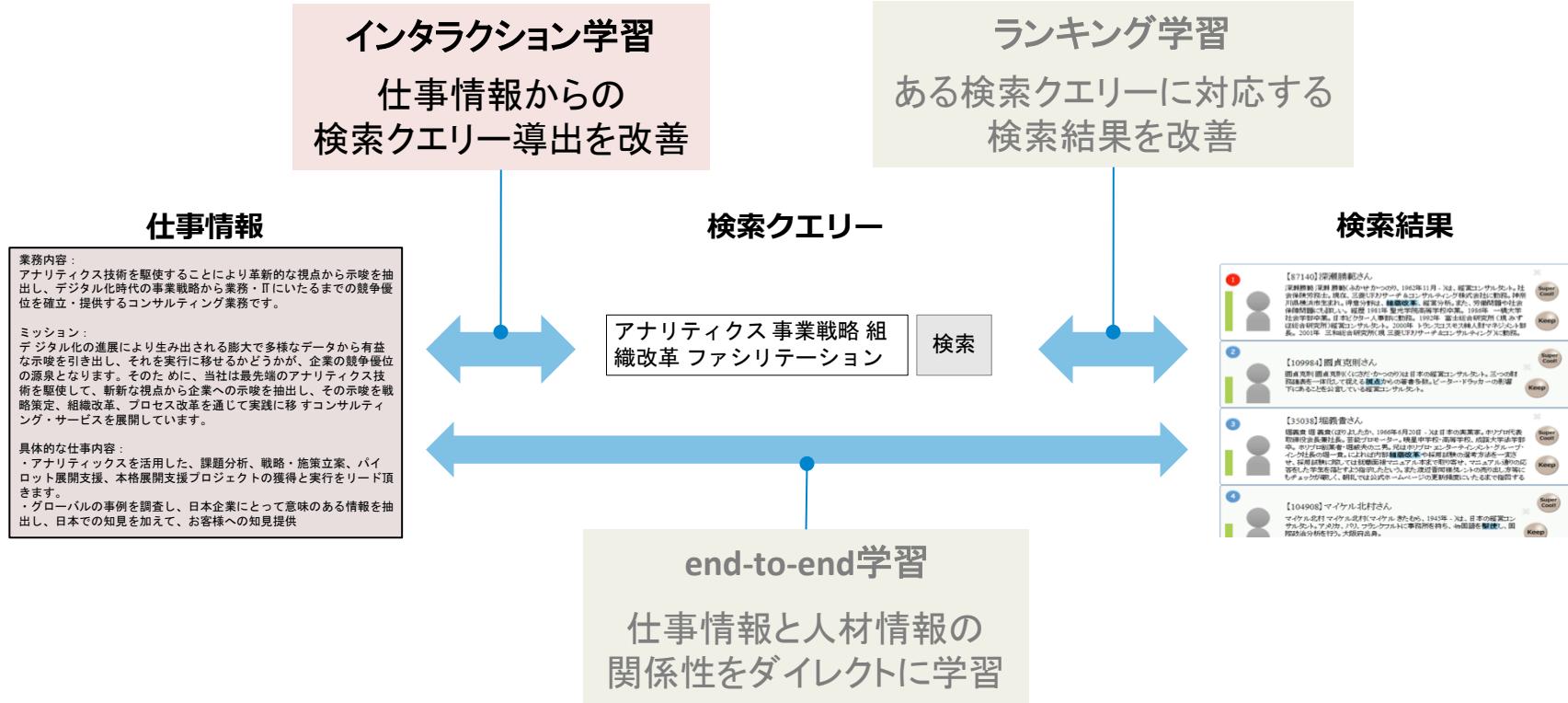
特徴語を 自動抽出

不要ワードを
消す→学習

- コンサルタント
- 駆使
- 競争
- デジタル
- アナリティクス
- 事業戦略
- 組織改革
- 視点

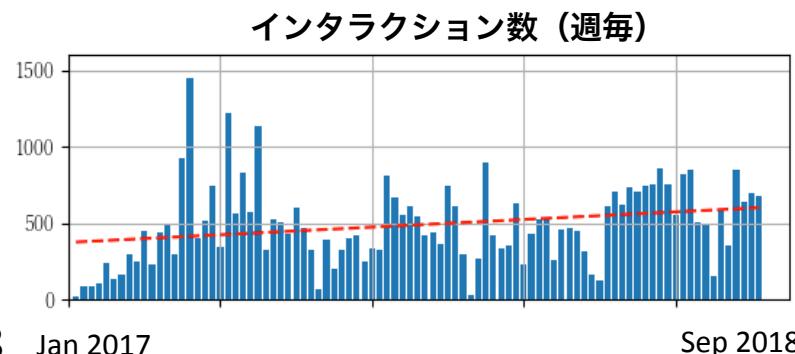
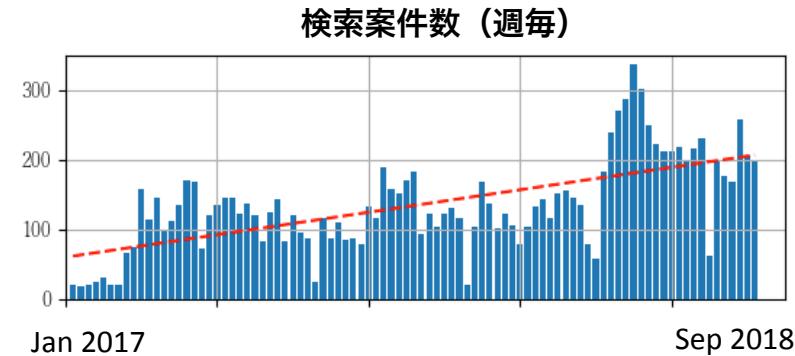
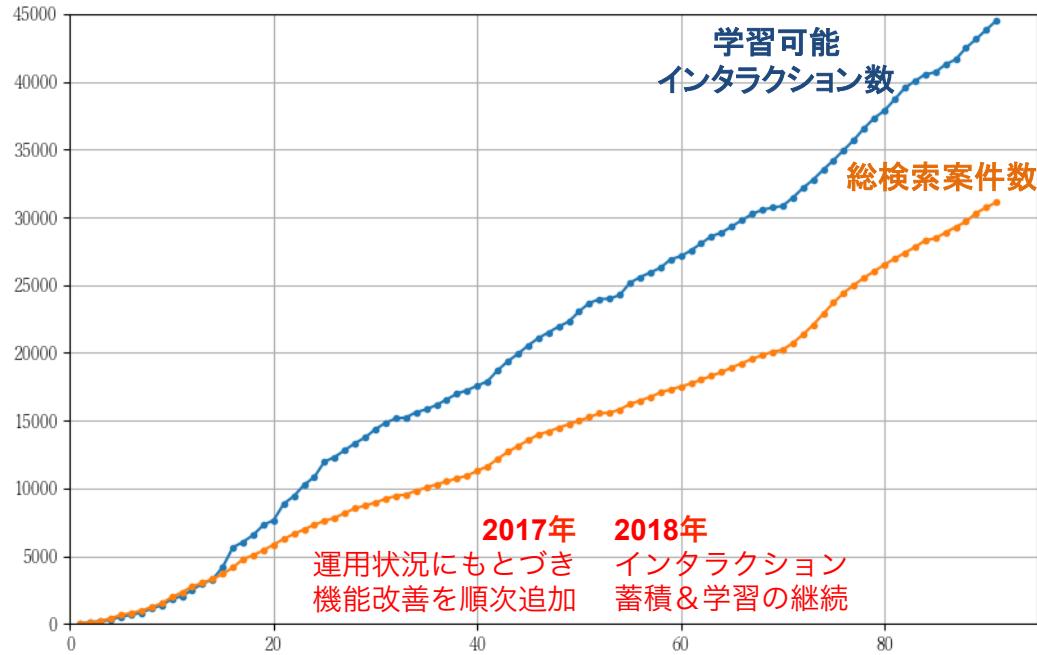
キーワードを
追加する→学習

マッチングシステムにおける種々のAI技術の位置づけ



システム利用累計

- 30名程度のスタッフがコンスタントに「人材スカウター」を活用



「GBER」

GATHERING BRISK ELDERLY IN THE REGION

地域の元気高齢者を集める



×



地域における仕事・ボランティア・サークル活動などの求人と お爺ちゃんお婆ちゃんとのマッチングプラットフォーム

カレンダーUI



地域活動に参加したい 予定を発信

マップUI



生活圏内の地域活動を検索

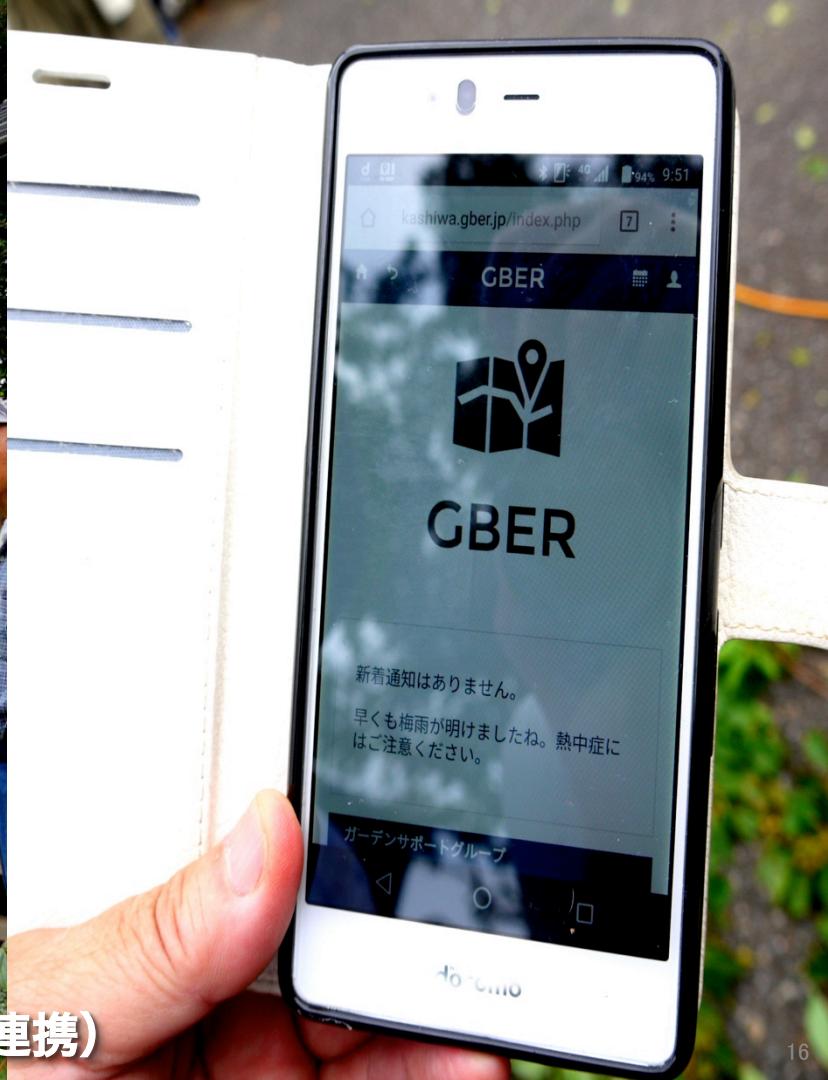
Q&Aカード



興味関心を手軽に入力



柏市でのGBERの活用
(一般社団法人セカンドライフファクトリーとの連携)



柏市における運用(2016年4月～2018年9月までの実績)

登録ユーザ数

106

アクティブユーザ約**30名**
(ガーデンサポートグループ)

延べ社会参加人数

2,364

2018年3月31日より**312人増**

GBERのオープンソース化(GitHubにて公開) 誰もがクラウド上に展開可能なプラットフォームに



The screenshot shows a web browser window with the GitHub URL <https://github.com/hiyama-lab/gber>. The page content is as follows:

使い方

デモを試す
Dockerを使ってすばやくデモ版GBERを立ち上げます。→ [デモの試し方](#)

クラウドで動かす
GBERを運用する際は、クラウド（Google Cloud Platform）上にデプロイします。→ [デプロイのやり方](#)

開発者の方へ
開発時は、Docker Composeを使ってローカルマシン上で動かします。→ [Docker Composeを使ったセットアップ](#)
Docker imageの作り方はこちら → [Docker imageの作り方](#)

ライセンス

Copyright 2018 [Senior Cloud Project](#), The University of Tokyo
GBERは[Apache License, Version 2.0](#)に基づいてライセンスされています。
本研究の一部は科学技術振興機構（JST）の研究成果展開事業【戦略的イノベーション創出推進プログラム】（S-イノベ）の支援によって行われたものです。

JR九州OB就労支援への活用

本年2月に小規模テストを実施～雇用契約にもとづく実証運用を準備中

福岡県 コンビニ



働いてみて

3時間の労働を終えると若干の疲れが。

それでも、久しぶりに仕事をして、社会とのかかわりを感じることができ、短いながらも充足感溢れる時間を過ごすことができました。

宮崎県 農場



働いてみて

3時間程度働いてみて、若干のつかればあります BUT、適度に体をうごかすので楽しく就業することができました。

またやってみたいと思います。

実用的なプラットフォームへ

カレンダーUI



より細かいスケジュール
マッチング

マップUI



アクセシビリティの高いインターフェース

Q&Aカード



熊本県において**GBER**の活用を推進

2018年9月7日 厚生労働省 生涯現役促進地域連携事業における協議会発足

働けるうちはいつまでも | 熊本

① Not Secure | www.ultra65plus.jp/gber.html

熊本いきがい発見サイト ウルトラ 65+

【TOP】
| 働けるうちはいつまでも | 多様な働き方の提供 | 関係機関リンク集 | この事業について

GBER

GBER: Gathering Brisk Elderly in the Region (地域の元気高齢者を集める)

GBERは、元気な65+の方々の地域活動をサポートするために開発された、パソコンやスマートフォンを使った情報提供システムです。大学先端科学技術センターさんの方で熊本版GBERの開発を進めていただいている。サービスの提供は平成初春ごろになる予定者の檜山先生からいただいた資料を掲載します。ご期待ください。

GBER: Gathering Brisk Elderly in the Region (地域の元気高齢者を集める)

戦後から今日まで、私たち日本人の平均寿命は30年も伸びました。それは同時に、私たちは定年後に30年もの新しい人生のステージを獲得したことでもあります。新しい人生のステージの長い時間を、いかに充実させ心身共に健康で過ごすことができるか、「社会参加」がそのキーワードになっています。

GBER（ジーバー）は、現役時代とは異なる形で、個人に合わせたペースでの無理のない社会参加を助けるインターネットサービスです。空いている時間に、好きな場所で、あなたの興味関心やスキルに合わせて、仕事、ボランティア、生涯学習や趣味など様々な地域活動を見つけ、参加することを助けます。



2018年9月7日熊本NHK

人の仕事を奪うAIではなく
人と仕事、そして社会を結びつけるAI